

平成20年度第1回 函館市観光アドバイザー会議 会議録

- 1 日 時 平成20年11月11日(火) 14:00~15:30
- 2 場 所 函館市地域交流まちづくりセンター
- 3 参集者 番匠座長, 星野部会長, 根本部会長, 古川委員, 坂本委員, 吉田委員, 折谷委員, 河内委員, 沢村委員, 丸藤委員, 松原委員, 松木委員
(12名出席)
- 4 内 容
 - (1) 開 会
 - (2) 座長挨拶
 - (3) 報告事項
 - ・平成19年度の観光動向について
 - ・平成20年度の観光振興策について
 - (4) 討 議
 - 番匠座長
 - ・事務局から報告された各事業に係る委員から, 補足の説明があればいただきたい。
 - 河内委員
 - ・第4回のオンパクが終了したところで, 今回の開催データや意見などについて集約しているところである。
 - ・開催プログラムでは, 地域の魅力を再発見するプログラムとして, 「お出かけ系」のメニューを増やすなど, リピーター向けへの対応をしている。
 - ・結果の感触としては, ホテルの食事付きプログラムが人気があり, 温泉ホテルの魅力を存分に楽しんで頂けたのではないかと。また, 裏夜景プログラムは, 年齢が高い層に人気であった。
 - ・傾向として小人数枠のプログラムが人気であったことから, こじんまりした感じや手作り感といったものが求められているのだろう。
 - ・地元から情報を発信することが大事であり, オンパクも地元の見所や隠れた観光資源などを引き続き発信していきたい。
 - 古川委員
 - ・はこだて検定について, 1回目の実施の際は合格率が非常に高かったが, 2回目は問題が難しかったのか, 合格率が低い結果となった。検定自体は

受験者を振り落とすためのものではなく、合格者が少なくなるとは受験の意欲も薄れて、検定の意味が無くなってしまいかねない。

- ・ 3回目の今回については、これまでの反省を踏まえて問題を作成したことから、合格率は上がるものと期待している。

吉田委員

- ・ ゆとりツーリズム魅力増進事業は、北海道観光振興機構が実施しているモデルコース募集事業であり、道南地域として、歴史・文化・グルメにウォーキングを加えたコースを提案した。道内で5コースを選定するのに対し、各地域から11コースの提案があったが、道南コースは見事採択された。
- ・ これまで首都圏でのプロモーションやモニターツアーの実施などが行われており、今後モデルコースが絞り込まれ、最終的にはエージェントの手で旅行商品化されていくことになる。
- ・ このような取り組みを通じて、さらなる道南広域の連携強化を図りたい。

番匠座長

- ・ 事務局からの説明を踏まえて、今後取り組むべき観光振興策について掘り下げたいと思うが、これまでも議論を重ねてきたコンベンションに関して、コンベンションセンターを新たに建設するのは難しいのではないかと考えている。例えばだが、駅前和光デパートの上部のフロアが大きく空きスペースになっていることから、この場所を活用してはどうか、ということが検討に値するかどうかについてご意見など頂きたい。

星野委員

- ・ 市は、コンベンションホールの施設整備が重要と考えているが、施設面でどうしたいのか、どのくらいの規模なのかなど、市の考える方向が全く見えてこない。現状はどのような考えとなっているのか。

事務局 鈴木部長

- ・ コンベンションに関しては、ソフト面が観光コンベンション部、ハード面は企画部での検討ということで進めている。これまで整備に関する検討会が開かれているが、施設に関して様々な案が出されており、議論の集約という段階にまでは至っていない。

古川委員

- ・ 商工会議所でも様々な議論をしているが、必要な部分、不必要な部分、何人規模のこういったホールが必要なのかなど、議論の内容が煮詰まっていないのが現状である。

番匠座長

- ・ 2千人規模のホールがあればいいのだろうが，収支のバランスをとるのは難しいのではないかと思う。先般，岡山市の真壁氏（岡山コンベンションホール）からも言われたが，施設の場所の問題が一番だと思う。その意味では，函館駅前にはホテルもあるし，駅前地区の活性化にもつながるので良いのではないか。
- ・ まずは，施設の場所や規模についての議論を先に進めるべきであろう。

星野委員

- ・ 市としての考えを具体的に取りまとめて欲しい。整備の手順やスケジュール的なものだけでもオープンにして頂きたい。

河内委員

- ・ コンベンションホールは，ないよりあった方がいいとは思いますが，収支的なことが何より大切である。需要予測なども考えた議論となっているのだろうか。

松原委員

- ・ 未来大学でも時々学会等を開催するが，大規模なものを大学で開催するとなると授業にも影響が生じてしまう。市内に数百人規模のホールがあると，確かにコンベンションを呼びやすいと思う。
- ・ さまざまな議論がされていると思うが，新幹線の開業が目前に迫って来る中で，長く議論ばかり重ねていても何も進まない。今後コンベンションの誘致に取り組んでいくにあたって，とりあえず何らかの改修をして対応できるのであれば，それでも良いのではないかと思う。

松木委員

- ・ 各コンベンション分野によって函館で開催するにあたって欠けている部分は何かを考えて拾い出してはどうか。多様なニーズに応えられるように考えることは重要だと思う。

古川委員

- ・ 新設か改築か，規模等を含めて市として整理して考えを示して欲しい。

事務局 鈴木部長

- ・ 様々なニーズがある中で，どこまで応えることができるのか，また，多くの意見がありすぎてまとめるのも難しく，事業採算性といった議論の段階まで行き着いていないというのが現状である。
- ・ 最終的には，市で方針等示さなければならないが，一定の期間を区切って

結論をまとめなければならぬと考えているので、本日各委員から頂いた意見も企画部を中心とした議論の中で示したうえ、さらに検討を進めたい。

番匠座長

- ・議論する人達のそれぞれのイメージや知識がバラバラなので意見がまとまらない。一定の情報を共有して議論をすることが重要だと思う。ハードの議論よりも、むしろ、誘致するメインのターゲットを明確にしていくことが重要ではないかと思う。
- ・その他、観光振興に関してのご意見を頂きたい。

星野委員

- ・「はこだてチケット」実証実験のアンケートは、回収サンプル数、率ともに少なく、参考にならないのではないかと。
- ・観光アンケートについてだが、方法や内容について見直したほうがよい。観光途中の人達にアンケートをとっていると思うが、本来は駅や空港で帰る際に出口アンケートを実施しなければ実態が掴めない。
- ・外国人観光客は何を求めているか、どこから来て、どこから出ているのかデータがない。観光客のニーズなどの情報がなければきめ細かい対応ができないのではないかと。今年度の取り組みをみる限り、どのように受け入れるかという施策が見あたらない。
- ・車で市内観光をする人への対応を強化すべきではないか。観光駐車場は、管理委託の費用がかかる割に稼働率が低い。路上駐車違反の取り締まりが強化された中で、場所もわかりづらい。駐車場情報の提供について対応を考えて欲しい。

事務局 鈴木部長

- ・「はこだてチケット」は、確かにサンプル数が少なかった。チケットを購入した人が、どこを周遊するのかわからない状況で、回収することに難しい部分があった。
- ・韓国人観光客へのアンケートは、今年度実施をしているところ。夏のサンプル数が400程度。帰る際に調査を実施しているので参考になるデータ結果が出るのではないかと。冬にもう一度アンケート調査を行い、結果が報告書としてまとめられるので、関係機関に配布する予定である。

丸藤委員

- ・外国人観光客についてだが、既存の外国人対応マップでは、彼らが求めている情報を提供出来ていない。例えば、マップには銀行の記載はされてい

るが、本当に知りたいのは両替ができるところであり、土日に営業していない銀行を記載していても意味がない。

- ・郵便局と薬局やコンビニ、英語対応ができる観光案内機能が1つの場所で出来ればよいと思う。そのような場所が1箇所でも市内にあれば、外国人に聞かれたときに、そこに行くように案内対応ができる。
- ・客船で来る外国人は、滞在時間が短い中で非常に費用対効果が高い。彼らにアンケートを実施し、ニーズを把握してピンポイントに対応すれば、お金も落としてくれたうえで評判もよくなる。ホスピタリティは非常に重要。

事務局（鈴木部長）

- ・両替の対応は難しい面もあると思うが、コンビニの一部（セブンイレブン）では両替できる機械もある。外貨をどこまで両替できるか把握していないが、いずれにしてもクレジットカードを使えない環境は不便だ。

折谷委員

- ・参考資料にあるブランド調査はいい結果だ。函館の魅力が高い理由を分析してさらにアピールすると良いと思う。
- ・客船の受け入れは新潟や長崎など充実しているところもあり、ノウハウを調べてみても良いのではないか。

番匠座長

- ・今後の観光振興策について、一通りご意見を頂いた。「コンベンション」の議論が大きくなったが、来年度以降に向けての各種示唆があったものと思う。委員の皆さん、ありがとうございました。

事務局 平井課長

- ・昨年度に引き続き、今年度も先進地調査を考えている。本日のご意見も踏まえつつ、調査内容を詰めたうえで、委員の同行も含めあらためて番匠座長にご相談しながら進めていきたい。＜委員了承＞
- ・本日は誠にありがとうございました。

（会議終了）